

刊行にあたって

本増刊号は、「歯の移植・再植」をこれから始めようと考えている方のための入門書として編集、執筆しました。「歯の移植・再植」は、インプラント治療の対極にある治療法ではなく、あくまで患者を総合的に診断し、診療する観点から、必要な治療オプションとして位置づけています。

「歯の移植・再植」は初心者向けの症例から難易度の高い症例まで幅広く応用できますが、経験もなく、いきなり難易度の高い症例を手がけてしまったらどうなるでしょうか？ おそらく、その患者は経過不良に陥り、担当医は患者の対応に追われ疲弊し、もう二度と「歯の移植・再植」は行わないでしょう。それは非常にもったいないことです。患者を生活者として捉え、口腔内にとどまらず、その方の将来について本人と十分に意見交換を行い、総合的に診断して治療に携わる。道はひとつではありません。そのように患者の治療計画を考えているときに「歯の移植・再植」をひとつの道として俎上にのせることをお勧めします。

また、「どのような症例から始めればよいのでしょうか？」「いまの自分の実力には少しだけ難しい症例にはどう対応すべきなのでしょう？」「治療の勘所は何でしょうか？」「経過が悪くなった症例にはどのように対処すべきなのでしょう？」など、疑問に対する答えが導けるような指南・入門書として活用していただけるように、執筆者一同心がけました。

「歯の移植・再植」は、患者自身の創傷治癒力を利用して、組織をいち早く生着させることが肝要です。それを成功させるためには、いくつかの条件があります。本増刊号により「歯の移植・再植」の成功の手順を経験し、今後の皆様の臨床を広げることができれば幸いです。

さあ、始めましょう！ 無欲は怠慢の元です！

2017年9月
編集委員代表 塚原宏泰